

【第1号議案】

## 平成26年度 事業報告

### 1. 事業部門

当財団は、平成2年(1990)4月1日に(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団として設立されて以来、本年で満26年を迎えました。これまでは、本格的な高齢社会の到来を控え、また国民のニーズの高度化、多様化に対応するために良質の医療を効率的に提供するためのシステムづくりが重要なことから、医療供給を施設中心から在宅中心へと転換する観点で、在宅でも医療が出来る環境の整備を図り、在宅ケアを推進していくために研究や事業助成を中心に助成事業に努めてまいりました。

また、教育研修事業分野においても在宅で利用者が必要とするニーズを捉え、マネジメントの充実を図る目的から専門職の質の向上を目指し教育研修を実施してまいりました。

これらの情報を出版物「ふれあいの輪」やホームページ等で外部機関へ公開し、助成を必要としている諸団体・個人への情報及び調査・研究事業の分野においても、質、量の両面で調査研究の成果を関係諸団体に対し提供を行い、わが国の在宅推進の向上に寄与し、広く社会へ財団の社会的役割を発信してまいりました。

当財団は公益財団法人へ移行して以降、本年度は4期目を迎え、更なる超高齢社会を向えるに当たり、社会保障制度の仕組みを早急に取り組む必要性があり、特に在宅ケアに関しては、多様化するニーズにいち早く捉え高齢者が自立生活を継続できる住まいを確保し、生活の質を如何に高めるかが重要となります。

高齢者や障害者の安全・安心を確保するために必要な生活や住環境の整備が必要不可欠であります。そのために、官民の連携を下に一体となって、介護保険制度の充実から在宅に対する知識の共有と地域包括ケアシステムの構築が必要となるものと判断いたします。

医療、看護、介護の専門職がチームアプローチを行い、利用者の自立支援に役立てることができれば幸いに思う次第であります。当財団としても、それらの役割を共有して在宅ケアに対するあらゆる分野から双方向の視点での役割を担うことで社会貢献を目指し、公益性を重視した考えを元に邁進していく所存であります。

今年度の公益目的事業、収益目的事業並びに決算処理については、以下の通りご報告いたします。

## [1]公益目的事業

### イ. 研究・調査・助成事業 (公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業)

#### 1)研究・事業助成事業

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであり、基本的には、在宅での医療機器、福祉用具を使用しての研究及び事業であります。

#### ●1. 平成 26 年度選考委員会(第 1 回)

日 時	平成 26 年 4 月 11 日[金] 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 4F みやび
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 永田勝則 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、小宅常務理事
議 題	平成 26 年度助成金募集要項について他

#### ●2. 平成 26 年度選考委員会(第 2 回)

日 時	平成 26 年 6 月 13 日[金] 午後 6 時から
場 所	京王プラザホテル 47F あさひ
出席者	(選考委員長)北條 慶一 (委員)千野 直一 ・堀 勝洋 (委員)内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 永田勝則 (財団役員)多田羅会長、池田理事長、星川選考担当理事、小宅常務理事
議 題	平成 26年度研究・事業助成金採点結果 平成 26年度研究・事業助成金決定

#### ●3. 平成 26年度(研究助成・事業助成)募集カテゴリー

(研究助成)

- ① リハビリテーション活動や機器に関する研究
- ② 訪問看護、地域包括、在宅介護支援にける機能拡大に関する研究
- ③ 介護保険制度及び医療保健制度に於ける在宅医療に関する研究
- ④ 難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑤ 医療機関から在宅医療、看護連携パスと福祉用具の活用に向けての研究
- ⑥ その他研究助成 (医療の安全、海外のホームケア、震災後のケア)

(事業助成)

- ① 在宅療養者への医療、看護、介護サービス実施事業
- ② 高齢者や障害者(児)の在宅ケア推進関連事業
- ③ 認知症、難病、がん末期患者、精神障害者等の在宅医療・看護・介護強化に関する事業

(ボランティア活動助成)

- ① 地域で高齢者・障害者等にボランティア活動を行っている個人、若しくは団体への助成
- ② 福祉事業者の地域で医療、看護、介護に携わる活動に対する支援助成

●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	平成26年4月15日～平成26年5月26日(応募期間)		
応募総数	57件	採用件数: 49件	助成金総額: 11,032,000円
助成金累計総額	401,181,000円		

※平成26年度研究・事業助成採用者一覧表は、別紙資料「1」をご参照。

## 2) 海外調査研究事業

### ①. 銅イオンによる環境感染管理に関する海外研修

●海外研修生 3名

- ・藤田 烈(東京大学附属病院)・坂木 晴世(国立病院機構西埼玉中央病院)
- ・池田 しのぶ(東北大学病院)

●研修場所及び期間

- ・フランス リヨン ・平成26年11月15日から21日

●施設の視察

- ・フランス リヨンの総合病院 ・銅製品使用施設
- ・感染学会への参加

※別紙報告書参照

## 3) 研究委託調査事業

### ①介護支援専門員の福祉用具の活用等に関する調査

- ・介護支援専門員が利用者にとどの程度福祉用具(貸与・購入)を活用するよう支援しているか、福祉用具専門相談員とどのような関係で利用者を支援しているかを明らかにする。さらに、それらを詳細に明らかにするために、介護支援専門員の所属する居宅介護支援事業所の属性及び介護支援専門員の自立に対する考え方によりどのように異なるかを明らかにする目的。

**ロ. 教育研修事業**〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓発活動事業〕

**1) 福祉用具専門相談員指定講習会の実施**

**第一回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催**

参加者: 受講者が最小催行人員に満たなかった為、中止いたしました。

**第二回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催**

日時:平成26年6月20日〔金〕、27日〔金〕、7月4日〔金〕、5日〔土〕、  
11日〔金〕、12日〔土〕 6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」  
メディアボックス会議室 「新宿区西新宿1-9-18」

参加者: 35名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理  
職業倫理他

**第三回:福祉用具専門相談員講習会及び福祉用具供給事業従事者研修会の開催**

日時:平成26年11月11日〔火〕～13日〔木〕、18日〔火〕～20日〔木〕、  
6日間 50時間

場所:新宿スクエアタワー会議室 「新宿区西新宿6丁目22-1」

参加者: 18名

科目:医学の基礎知識・介護場面における福祉用具の活用・介護に関する基礎知識・介護技術・老人保健福祉制度の概要・高齢者の心理  
職業倫理他

**2) 福祉用具プランナー研修会の実施**

**第一回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間**

日時:平成26年7月11日〔金〕～平成26年9月10日〔水〕eラーニング期間  
平成26年8月7日〔木〕～9日〔土〕 3日間 前期集合研修  
平成26年9月11日〔木〕～13日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所:日本社会事業大学 文京キャンパス 「文京区小石川5-10-12」

参加者:51名

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具、最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

## 第二回：福祉用具プランナー研修会の開催 52.5 時間

※ eラーニングについては、科目ごとの講義を受講している。48時間

日時：平成26年8月17日〔日〕～23日〔金〕 集合研修

場所：西武学園医学技術専門学校「東京新宿校」・新宿区百人町 2-5-9

参加者：24名

科目：住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

## 第三回：福祉用具プランナー研修会の開催 100.5 時間

日時：平成26年11月18日〔土〕～平成27年1月21日〔水〕eラーニング期間

平成26年12月18日〔木〕～7日〔土〕 3日間 前期集合研修

平成27年1月22日〔木〕～24日〔土〕 3日間 後期集合研修

場所：株式会社ウイズ 会議室 「大阪市西区立売堀 1-9-33」

参加者：47名

科目：住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

### 3) [講演会等]の実施

- 1. セミナー啓発研修会活動では、ホームケアを目指したテーマを取り上げ高齢者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立って情報提供を行い、又、それを支える専門職の方への現任教育として講演会等を実施しております。

※全国で開催した講演会等の一覧表は、別紙資料「2」をご参照。

- 2. セミナー並びにフォーラム開催の実施。医療・看護・介護の関係者を対象として最新情報を提供しております。

#### 2014 年度第 1 回開催：札幌

:平成 26 年度認知症セミナー

:『地域医療の課題と対策』～今、医療・看護者に求める認知症の理解～

:プログラム:「基調講演」地域包括ケアシステム構築の鍵を握る医療・介護連携の推進

厚生労働省 老健局老人保健課長 迫井 正深 氏

「講演会」第一部 「増加する認知症患者を病院でいかに迎えるか

勤医協中央病院 名誉院長 伊古田 俊夫 氏

「講演会」第二部 「認知症の患者・家族にどのように関わるか」

白十字訪問看護ステーション代表 秋山 正子 氏

:日時:平成26年6月7日(土) 13:00～16:30

:会場:札幌コンベンションセンター 「札幌市白石区東札幌6条1丁目1」

:主催:公益財団法人フランスハット・メディカルホームケア研究・助成財団

:協賛:株式会社 ムトウ・フランスハット株式会社

:参加者:225名

:参加費:無料

**2014年度第2回開催:東京**

:2014年医療・介護従事者フォーラム

:『医療、介護に携わる管理者の取組み』

:プログラム:「講演会」第一部 「医療、介護の現場のあり方」～医療・介護の経営の視点～

東京医科歯科大学大学院 教授 川淵 孝一 氏

「講演会」第二部 「医療、介護の現場のあり方」～認知症対応の視点～

国立長寿医療研究センター 研修センター長 遠藤 英俊 氏

:日時:平成26年12月5日(金) 13:00～16:30

:会場:公益社団法人日本看護協会ビル JNA ホール「渋谷区神宮前5-8-2」

:主催:公益財団法人フランスハット・メディカルホームケア研究・助成財団

:協賛:フランスハット株式会社

:参加者:168名

:参加費:無料

#### **4)海外研修の実施**

:高齢者介護サービス人材フォーラム

～日本における介護人材育成の歩みと地域での役割と今後の展望～

:日時:2014年5月27日(火)

:場所:中国 上海市 上海世界博覧会館

:プログラム:午前の部「基調講演」

日本における社会福祉専門職養成の歩み

桜美林大学大学院 白澤 政和 氏

午後の部「シンポジウム」

日本における地域ケアを担う専門職の役割

～介護福祉士・地域精神保健・医療と福祉の連携・福祉用具の活用

## ハ. 支援助成事業[公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業]

### ①健康生きがい学会への助成支援事業

健康と安心、そして生きがいに充ちた高齢期を迎えることは万人の願いであり、全ての高齢者に健やかな老いを保障することは老人福祉の究極的な目的といえます。そこで、高齢者が健康で安心に加えて、生きがいのある人生を送るために、国、地域、社会、そして私達1人ひとりがどのように対応していくべき意を尽くしていくために「健康生きがい学会」が創設されています。このことは、高齢社会の発展と向上に寄与していくことに対し、支援助成を行ってまいります。

- ・ 健康生きがい学会第5回大会
- ・ 『高齢者の健康生きがい』ーライフステージの視点からー
- ・ 日時:平成26年8月6日(水)、7日(木)
- ・ 場所:弘前医療福祉大学
- ・ 主催:健康生きがい学会
- ・ 共催:弘前医療福祉大学
- ・ 〃 :公益財団法人フランスハットメディカルホームケア研究助成財団
- ・ 参加者:350名
- ・ 参加費:無料

### ②難病こども支援全国ネットワークが主催する活動に対し後援し助成を行っている。

各種活動内容としては

- ・ 病気や障害のある子の家族を対象とした相談事業
- ・ 家族同士の交流の場を提供するサマーキャンプ事業
- ・ 親の会活動を支援する事業
- ・ 講演会、研修会など病気や障害のある子を理解するための事業
- ・ 社会教育・広報活動・ボランティア希望の方へ並びに活動支援事業

## [2]収益目的事業

[収1:在宅ケアに関連した、医療、介護、看護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業]

1)季刊誌「ふれあいの輪」を収益事業として、会計区分しております。

高齢者が安心して在宅生活を送り、住み慣れた我が家で最期を向えることは、誰もが望むところである。そのためには社会資源を活用したネットワークの構築と情報の共有化が不可欠である。季刊誌「ふれあいの輪」の配布は、医療、看護、介護を含む幅広い分野の皆様に配布を行っております。

- 1. 医療、看護、介護の専門分野の方に執筆をお願いして発行し、社会の動向を踏まえた最新情報を掲載し一般国民の皆様にも提供しております。
- 2. 年4回の発行(春、夏、秋、冬)1回の発行部数12,650部  
※今、決算では、夏号、秋号、冬号、春号の発行になります。

No.173(夏号) 2014.6.10	トップインタビュー 「引き算の介護」と「足し算の介護」を正しくできる人が、本当の介護のプロなのです 新しいケアの取組み 介護保険制度が抱える運用面の課題に、老人福祉法の「経費老人ホーム」で対応
No.174(秋号) 2014.9.10	特別企画:福祉用具レンタル事業 30 周年記念(対談) その時、ホームケアの新しい地平が拓かれた 特集:介護保険法改正と今後の地域包括ケア 2025 年の地域包括ケアシステム構築に向け医療・介護を一体化した法改正
No.175(冬号) 2014.12.10	トップインタビュー ナノバイオテクノロジーを基軸とした、医薬工の融合が、がん診断・治療を変える 新しいケアの取組み: 地域住民との対等な関係を築くことが、安心して暮らせる地域づくりにつながる
No.176(春号) 2015.3.10	トップインタビュー (特別対談) 「在宅」におけるケアの拡充が地域包括ケアシステム 地域包括ケア推進の原動力となる。 特集:訪問看護最前線 第2回 利用者の遠慮や家族の不安を超えて、「在宅での看取り」を進めていくために

- 3. 配布先については、購入事業者(フランスベッド(株)メディカル営業所、全国60箇所へ配布)を行い、各医療、看護、介護関連施設並びに一般の方々へ配布を行っております。

## **2. 管理部門**

平成 26 年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

### **〔イ〕許認可事項**

なし

### **〔ロ〕会議開催状況**

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

#### **(1)理事会**

##### **第 8 回定時理事会(平成26年6月2日)**

- 第 1 号議案 平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）  
事業報告及び決算承認の件
- 第 2 号議案 公益財団法人理事・監事任期満了に伴う、役員を選任について
- 第 3 号議案 評議員の定時評議員会の招集について
- 第 4 号議案 保有株式の権利行使について
- その他報告事項

##### **第 9 回定時理事会(平成26年10月24日)**

- 報告事項Ⅰ. 平成 26 年度上期度事業報告並びに財務諸表報告について  
1.平成 26 年度〔平成 26 年 4 月 1 日～平成26年 9 月 30 日〕  
事業報告及び財務諸表報告の件
- 報告事項Ⅱ. 平成 26 年度下期事業予定  
1.平成 26 年度〔平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日〕  
行事予定
- 報告事業Ⅲ. ①2014 年医療・介護従事者フォーラムの案内

##### **第 10 回定時理事会(平成27年2月6日)**

- 第 1 号議案 平成 27 年度事業計画
- 第 2 号議案 平成 27 年度収支予算書
- 第 3 号議案 規程の改定について
- その他報告事項 資金調達及び設備投資の見込みについて

## (2)評議員会

### 第6回定時評議員会(平成26年6月13日)

- 報告事項Ⅰ. 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)  
事業報告の内容報告の件
- 報告事項Ⅱ. 平成26年度における役員(理事・評議員)の退任について
- 第1号議案 平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)  
計算書類等承認の件
- 第2号議案 評議員の選任の件
- 第3号議案 任期満了に伴う役員の改選について
- 第4号議案 理事の選任の件
- 報告事項: 東日本大震災義援金募金活動について他

### 第7回定時評議員会(平成27年2月20日)

- 承認事項①平成27年度事業計画
- ②平成27年度収支予算書
  - ③資金調達及び設備投資の見込み
  - ④株式の受入について
- 第1号議案 「規程の改定について」
- その他事項 資金調達及び設備投資の見込みについて

## (3)企画委員会

- 第1回 季刊誌「ふれあいの輪」秋号企画委員会(平成26年6月27日)
- 第2回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(平成26年10月14日)
- 第3回 季刊誌「ふれあいの輪」春号企画委員会(平成27年1月16日)
- 第4回 季刊誌「ふれあいの輪」平成27年度計画委員会(平成27年3月11日)
- 第5回 季刊誌「ふれあいの輪」平成27年度計画報告会(平成27年3月23日)

以上